

## 巻頭言

本学会理事:長岡記念財団 理事長 中野種樹

第12回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会の開催にあたって

病院経営を取り巻く環境の変化に対して、病院がその変化にフレキシブルに対応できる瞬発力と、目標に向かって着実に進むことのできる持久力を持つことは必須で、当院も例外ではありません。長期的に見ると当院が開設した昭和10年から、精神科病院は隔離政策や収容の時代を経て、「入院中心の医療」から「地域生活を中心とした総合的な医療」の時代へと変化してまいりました。短期的に見てもその変化はめまぐるしいものです。

第12回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会は、  
『時代とともに変わる病院の役割 ～ BSCを用いた戦略的経営 ～ 』  
をメインテーマとし、平成26年10月18日(土)に開催いたします。

その主催病院としてご指名いただいたことは誠に光栄に感じるとともに、これまで11回の学術総会の盛会を目の当たりにしてきたことから、開催に向けて身の引き締まる思いです。

当院はBSCを導入して5期目となり、当初はBSCそのものの理解が浸透するのに時間がかかりましたが、現在では経営改善に有効なツールとして広く職員に認知され、意識改革も進みました。

しかしBSCの作成に直接関わった職員と、そうでない職員を比べると意識や行動に差があるのは明らかで、その差を解消しBSCを有効に機能させるためには、トップが率先して舵取りを行い末端の職員へ当事者意識を持たせることが必要だと感じています。

サブテーマとしてあげた

『今問われるリーダーシップ ～ BSCへの積極的参加 ～ 』  
はBSCを導入している病院の多くが抱える問題ではないでしょうか。

今回の学術総会によって、すでにBSCを運用している病院は更なる導入効果が得られることと、今後導入に向けて興味をお持ちの病院が、最初の一步を踏み出すためのきっかけとなるような、意義ある学術総会になるよう取り組んでまいります。

折々に四季を感じることのできる京都ですが、特に秋の京都は地元の人からも人気の高い季節です。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 1. 第11回学術総会を終えて ～開催報告～

第11回学術総会会長:松山赤十字病院 院長 淵上忠彦

日本医療バランスト・スコアカード研究学会第11回学術総会が、松山赤十字病院の担当により平成25年11月9日(土)に松山市総合コミュニティセンターで開催されました。

本学術総会には過去最高となる472名もの参加者が来場し、台湾からも台湾健康産業BSC管理協会の陳進堂理事長はじめ13名の参加がありました。このように非常に多くの皆様方にご参加いただいたことを感謝申し上げますとともに、無事に学会を開催することが出来たのも、一重に皆さま方のご協力とご支援のおかげと、心より御礼申し上げます。



メインテーマである「病院運営のさらなる飛躍をめざして -BSCによる多職種協働の実践-」のもと、シンポジウムでは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、管理栄養士のシンポジストによる講演や総合討論が行われ、まさに多職種協働による活発な議論や意見交換が繰り広げられました。

また、一般演題(口演27題、ポスター14題)においても、各会場とも入りきらない程の参加者が聴講し、各発表者からBSCによる積極的な取り組みが発表される中で、熱心な討議が行われました。

学術総会後には、松山全日空ホテルにおいて懇親会が開催されましたが、こちらでも引き続き熱気あふれる雰囲気の中で、愛媛の海の幸、山の幸、地元のお酒をご堪能いただきながら参加者が交流を図りました。アトラクションでは当院の職員も多数在籍する「松山よさこい風舞人(かぶと)」による余興で大いに盛り上がりました。

最後に、来年、京都で平成26年10月18日(土)に開催される第12回学術総会(学術総会会長:一般財団法人長岡記念財団 中野種樹 理事長)での再会を期して閉会となりました。



## 第11回学術総会に参加して (JAかみつが厚生連 上都賀総合病院 看護部長 斎藤由利子)

11月8日、晴天に恵まれそして素晴らしい環境と美味しい空気に包まれた松山市での学術総会は、演者、参加者、事務局が一体となった素晴らしい一日でした。心の「お・も・て・な・し」を感じることができ、まさに今回の開催テーマである「病院経営のさらなる飛躍をめざして ～BSCによる多職種協働の実践～」の場であったと確信しました。毎年多くの病院がBSCを導入している、あるいはしようとしており、BSCの普及は目覚ましいものがあると思います。しかし、本来のBSCとはいえない活用をしている病院もあると聞いております。そのようななか、高橋淑郎先生のご講演は、BSCの基本に戻り、振り返りをさせていただいたことで改めてBSCの素晴らしさを痛感しました。ミッション・ビジョンとプロセスの重要性、そして戦略的マネジメントとしてのツール、組織変革のフレームとして戦略を明確化していくべきことを再認識できました。同じ病院から参加したメンバーも感銘を受け、モチベーションが上がったようです。

経営資源は、「ヒト・モノ・カネ・情報・時間」と言われていますが、私自身はそのうち最も比重をかけるのは、「ヒト」であると思っています。なぜならいかに資源をうまく活用するかは「ヒト」次第であるからです。BSCの成功も「ヒト」、つまり人財です。私は、BSCは人材を人財に変えられると信じて実践しております。

役員総会を拝聴し、BSC組織も年々充実してきており、委員会活動も活性化していることを感じ取りました。ますますこの学会が「ヒト」を育てる機会となり、安定した経営につながることを期待したいと思います。日本医療バランストスコア研究学会に入会している自分は、学会に入会していますことを誇りに思い、一步ずつでも前進したいと常日頃から考えています。是非とも多くの方の入会とネットワークの広がり、そして学会自体の更なる躍進と繁栄を祈願いたします。

## 第11回学術総会参加記 (医療法人白水会 白川病院 経営管理部 藤田幸弘)

平成25年11月9日開催の日本医療バランスト・スコアカード研究学会第11回学術総会に参加した。今年は私の大好きな『坂の上の雲』の町、伊予松山での開催のため、1年以上も前からカレンダーに○をつけ、降りかかってくるあらゆる仕事、頼まれごとを振り切って松山へ飛んだ。

私は第3回からほぼ毎年参加している。続けて参加していると自院がどのあたりにいるかという「位置」のようなものが見えてくるのが面白い(恐ろしくもある)。私の所属する医療法人白水会 白川病院はBSC導入から10年目を迎えたが、この学術総会でも自院より年数の浅い病院の発表に刺激を受けた。また、ポスターセッションでは他院の戦略マップやスコアカードを比較して、自院のBSCを客観的に見直すことができた。

また、学術総会はBSCの基本に戻る場でもある。BSCを習って何年か経つと、作ることに慣れてくるので、解ったような気になることがある。しかし、「ミッションとは?」、「4つの視点で財務が一番上なのは何故?」、「どうして矢印は上から下にひいてはいけないのか?」といった基本的なことが実はよく分かっていない。今年の学術総会では、特別講演1で学会長の高橋教授によるBSCの基本についての講義があった。皆さん、「BSCの4つの1セット」って何か覚えていますか?

学術総会は通常、講演、シンポジウム、ランチョンセミナー、発表が一日にギュッと詰まり、最後に懇親会がある。今年も学術総会長の淵上先生をはじめ、スタッフの方々の歓迎の気持ち伝わるとても楽しい懇親会であった。

来年は10月18日京都開催。「お・も・て・な・し」を期待して、早速カレンダーに○をつけた。

## 2. 理事会・評議員会・会員総会のご報告

平成25年11月8日(金)に第30回理事会、第17回評議員会を松山全日空ホテルにて。平成25年11月9日(土)に第11回会員総会を松山市コミュニティセンターにて開催いたしました。

各委員会の活動報告、学会認定指導者試験報告、第11回学術総会準備報告等が報告されました。その他、次期評議員改選、次期会長選出、研究助成、新規入会者の承認について説明がなされ、承認された。

次期会長は、高橋淑郎先生(日本大学商学部教授)が選出され再任された。

### 【理事会承認事項】

- ・新規会員入会
- ・新評議員選出
- ・研究助成(\*)

### 【評議員会承認事項】

- ・新規会員入会
- ・新評議員選出
- ・研究助成(\*)
- ・次期評議員改選
- ・次期会長選出
- ・次期幹事

### 【会員総会承認事項】

- ・新評議員
- ・次期会長
- ・次期理事

### 【会員数報告】

個人正会員 300名  
賛助会員 33団体 (2013/10/31現在)

### (\*)【研究助成について】(規定抜粋)

- ・当学会が、BSC研究活動に助成するものである。
- ・対象は、当学会の個人正会員および賛助会員組織に属する職員とする。
- ・研究代表者は個人正会員とする。
- ・申請は、規定用紙を研究委員会に提出する。
- ・研究委員会が採択の審査をおこなう。
- ・研究助成の数は、1年度に1件とする。
- ・研究助成の期間は、1年間とする。
- ・研究助成を受けた者は、その研究成果を学術総会、学会誌への論文投稿にて報告しなければならない。
- ・研究助成を受けた者が、不正行為をおこなった場合、返還しなければならない。
- ・研究助成額の上限は30万円とする。

### 【各委員会活動報告】

#### ■企画研修委員会

- ・HBSC認定指導者講習会の実施援助
- ・導入ワークショップの検討・実施
- ・フォーラムの検討・実施
- ・導入テキストの改定

#### ■雑誌編集委員会

- ・学会誌第10巻1号の編集作業・発行
- ・学会誌第10巻2号の特集テーマの検討

#### ■研究委員会

- ・研究調査概要の検討・準備・実施

#### ■試験委員会

- ・HBSC認定指導者講習会の検討・実施

### 【次期理事一覧】

高橋 淑郎	(日本大学商学部 教授)
佐藤 貴一郎	(前国際医療福祉大学 教授)
中野 種樹	(一般財団法人 長岡記念財団 理事長)
渡辺 明良	(聖路加看護大学 事務局長)
大道 久	(社会保険横浜中央病院 院長)
伊藤 博	(弁護士法人 フェニックス・弁護士)
清水 孝	(早稲田大学大学院会計研究科 教授)
松村 吉庸	(社会医療法人 医真会 八尾総合病院 院長)
仲田 清剛	(社会医療法人 敬愛会 ちばなクリニック 院長)
高木 安雄	(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授)
竹田 秀	(一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院 理事長)
塩田 龍海	(あさがお経営研究所 公認会計士)

～ 次ページへ続く ～

(順不同敬称略)

## 【次期理事一覧 ～ 続き ～】

井部 俊子	( 聖路加看護大学 学長 )
淵上 忠彦	( 松山赤十字病院 院長 )
伊藤 和憲	( 専修大学商学部 教授 )
望月 智行	( 献心会 川越胃腸病院 院長 )
田中 延善	( 福井県済生会病院 院長 )
高橋 昌里	( 日本大学医学部 教授 )

### 監事

中村 彰吾	( 東京都健康長寿医療センター 常務理事 )
白神 誠	( 日本大学薬学部 教授 )

(順不同敬称略)

## 3. BSCなんでも相談会より

10月26日(土)BSC基礎理論講座終了後と11月9日(土)学術総会時に、「BSCなんでも相談会」を開催いたしました。

導入を検討している病院、導入したけどうまく機能していない病院など、計8施設から導入についての様々な悩みや質問をいただきました。

担当者より、相談内容に応じた事例の紹介や、当学会が提供しているワークショップなどのコンテンツを紹介いたしました。

今後も定期的開催する予定ですので、是非お気軽にご相談ください。また、学会ホームページからもお問い合わせいただけますので、ご利用ください。

## 4. 投稿論文募集について

雑誌編集委員会では、学会誌への投稿論文を募集しております。  
詳細は、学会ホームページをご参照ください。

URL:<http://www.hbsc.jp>

## 5. 平成25年度 個人・賛助会費納入のお願い

平成25年度年会費のご案内をいたします。

年会費 個人正会員 : 10,000 円  
賛助会員 : 100,000 円(一口)

## 6. 第12回学術総会のお知らせ

【日程】平成26年10月18日(土)

【会場】京都テルサ (京都府京都市南区東九条下殿田町70)

【テーマ】『時代と共に変わる病院の役割 ～BSCを用いた戦略的経営～』

【学術総会会長】中野 種樹 (一般財団法人長岡記念財団 理事長)